

安曇郡美



●本宮例祭「御船祭」9月27日 斎行

3年ぶりに「子供船」3艘が神社に揃いました。「大人船」2艘は本年も曳行はありませんでした。



●奥宮例祭「御船神事」10月8日 斎行

3年ぶりに通常通り上高地関係者など参列賜り斎行しました。多くの観光客も訪れておりました。

発行所
穂高神社社務所
創刊 昭和52年2月
〒399-8303
長野県安曇野市穂高6079
電話 0263-82-2003
FAX 0263-82-8770

交通安全祈願
車を買ったら
穂高神社

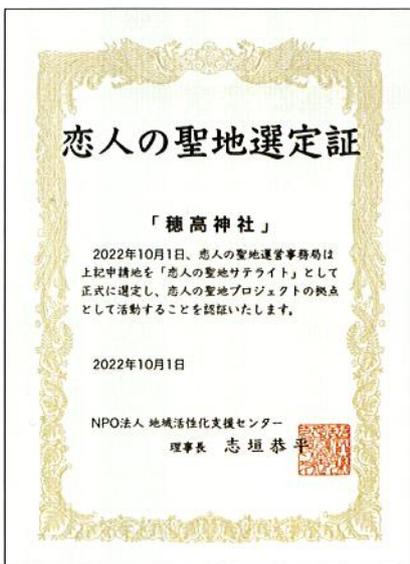
氏神さま、氏子について
氏神さまとは自らの住む土地をお守りくださる神様のことで、その土地の暮らしや生業を営む人達を氏子と言います。いつの時代にもこの土地に住む人々の生活や未来にわたる安寧を願う心が神の心と共に守られてきました。日頃から氏神さまとご縁を大切にいたしましょう。安曇野市穂高、等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区の氏神さまは穂高神社となります。

「恋人の聖地」

10月1日穂高神社が恋人の聖地として選ばれました。

○「恋人の聖地」について

地域活性化と少子化対策への貢献を図るため、全国観光地域・観光スポットの中から「フジポーズ」にふさわしい「ロマンチックなスポット」を「恋人の聖地」として選定されています。



恋人の聖地守として、恋守・恋みくじ・ハート形絵馬を新しく頒布を始めます。(12月中旬頃より)

ハート型絵馬

恋守り

恋みくじ



NTPホールディングス様の 寄付贈呈式

NTPホールディングス様（NTP名古屋トヨペットを中心としたグループ）より100万円を御寄付賜り贈呈式が行われました。

NTPホールディングス様は地域貢献の一環で、事業を展開する愛知県と長野県の特定の神社に対し、神社の記念事業の際に寄付をしており、当社式年遷宮に合せ御奉賛いただきました。



節分豆まき 令和5年男・福女募集

来る令和5年2月3日午後4時に行われる節分祭の豆まきに、ご奉仕いただける方を募集いたします。ご希望の方は、神社までお知らせ下さい。

◎参加料：5,000円

神楽殿より福豆（景品付き）福銭をまきます。皆様のご参拝をお待ちしております。

※状況により、変更・中止となる場合があります。

式年遷宮奉祝行事 志賀海神社参拝

安曇族の本拠地であり、御祭神「綿津見三神」は穂高大神の親にあたる志賀海神社（福岡県福岡市東区志賀島に鎮座）を参拝する旅行を行いました。志賀島は、国宝「漢委奴国王印」金印が出土した地であり1周約10⁺島です。金印公園を見学、志賀海神社を正式参拝しました。阿曇禰宜様より神社説明をいただき、境内社、今宮神社をお参りしました。今宮神社には宇都志日金析命（穂高見命の別名）が祀られており、穂高神社との繋がりの深さが分かりました。世界遺産の宗像大社や、八幡社の総本宮、宇佐神宮も参拝しとても有意義な旅となりました。



第43回あつみ野菊花品評会

穂高神社宮司賞（藤松 伸員 作）



穂高神社宮司賞

大菊タルマ作りの部 天位

列格記念祭並びに新穀感謝祭 齋行

11月22日に当社が昭和15年、国幣小社（旧社格）に昇格した日を祝う祭典と秋の収穫を神様に感謝する祭典が行われました。

祭典終了後、当社にご献納いただいた方の表彰を行いました。

☆表彰者

- 筒井廣明様 「青白磁星形文輪花鉢」 奉納
- 水上 敬様 「境内柵作り整備作業」 奉仕



青白磁星形文輪花鉢

師走の大祓式

日常生活の中で知らず知らずの内に犯した過ちや、身にふりかかった穢れを祓い清め、心身ともに清浄となる神事です。

氏子の皆様には一家に一人人形を配布致しますので、氏名と、年齢をご記入の上、初穂料（お志）を添えて当日までに氏子総代もしくは社務所へお納めください。

日時 12月31日

午後3時齋行

場所 社務所前

どなたでもご参加できます

茅の輪を拝殿前に12月20日～12月31日まで設置いたします。参拝の折には、茅の輪をくぐり抜け半年間の罪・穢を祓い清めて下さい。

☆初穂料 3000円以上の方

は神符を後日送付いたします。

3000円以上：大祓守

5000円以上：大祓神札

大祓守



人形 記入例

※人形袋の裏面の記載事項を必ずご記入ください。

新春祈願・交通安全祈願大祭のご案内

鈴の音に祈りを込めて初まいり

神気改まる年明けとともに大切に使用されているお車のお祓いを、一年間の交通安全と霊験あらたかなご加護のもと、穂高大神の御光を授かり家内安全、事業繁栄、商売繁盛等、諸祈願の成就をお祈りにお越しいただきますよう謹んで新春祈願大祭のご案内を申し上げます。

感染症防止のため、分散でのご参拝をおすすめ致します。

一、期間 一月一日〜八日

(受付八時〜十七時)

※一月一日午前二時から八時は授与所閉鎖とさせていただきます。

一、内容 交通安全、家内安全、事業繁栄、商売繁盛、厄除、八方除、合格祈願、学業成就、病氣平癒、身体健全、開運招福、心願成就、安産成就、初宮参り、初誕生祝い、災難除、職場安全、子授成就、良縁祈願、お礼参り、人形供養、ものけの祓、ペット祈願、他願い事。

一、祈禱料

祈 禱 五、〇〇〇円

普通祈禱 七、〇〇〇円

特別祈禱 一〇、〇〇〇円 以上

(追加一万円にて巫女による神楽舞を奉奏します。)

交通安全祈禱(車のお祓い)

祈 禱 一台につき 五、〇〇〇円

普通祈禱 一台につき 七、〇〇〇円

特別祈禱 一台につき 一〇、〇〇〇円

(二台目から二輪、普通車は三、〇〇〇円増し、大型車は四、〇〇〇円増しとなります。)

●郵送祈禱、お札・お守りの郵送のご案内

遠方にお住まいの方や様々な事情により御参拝が叶わず御祈禱・お守りを受けられない方々のために郵送等による御祈禱・お守りの授与を承っております。HPの郵送祈禱、お札・お守りの郵送授与をご覧ください。だくか電話で申し込みください。

厄除・八方除・十三参り

特別祈禱祭のご案内

令和5年厄年を迎える方、八方塞がりの方はお祓いをお受けになり、大神様の御加護のもと平穩無事で明るく充実した生活をお送り下さい。

古来より厄年は人生において心身の節目や責務の重い時期で、事故・病氣・災難など障害の起きやすい年廻りとされ、十三参りは干支が一巡することから子供から成人となる節目とされています。

男女共通十三参り	女性		男性		前厄	本厄	後厄
	年齢	年次	年齢	年次			
男女共通十三参り	61歳	昭和39年生	19歳	平成18年生	平成12年生	平成11年生	平成10年生
	37歳	昭和63年生	大厄42歳	昭和58年生	昭和57年生	昭和56年生	
	大厄33歳	平成4年生	昭和39年生	昭和38年生	昭和37年生	昭和36年生	
	昭和38年生	昭和62年生	平成3年生	平成17年生	平成16年生	平成15年生	
	昭和37年生	昭和61年生	平成2年生	平成16年生	平成15年生	平成14年生	
	昭和36年生	昭和60年生	平成1年生	平成15年生	平成14年生	平成13年生	
	昭和35年生	昭和59年生	平成0年生	平成14年生	平成13年生	平成12年生	
	昭和34年生	昭和58年生	平成0年生	平成13年生	平成12年生	平成11年生	
	昭和33年生	昭和57年生	平成0年生	平成12年生	平成11年生	平成10年生	
	昭和32年生	昭和56年生	平成0年生	平成11年生	平成10年生	平成9年生	
	昭和31年生	昭和55年生	平成0年生	平成10年生	平成9年生	平成8年生	
	昭和30年生	昭和54年生	平成0年生	平成9年生	平成8年生	平成7年生	
	昭和29年生	昭和53年生	平成0年生	平成8年生	平成7年生	平成6年生	
昭和28年生	昭和52年生	平成0年生	平成7年生	平成6年生	平成5年生		

「八方塞り：はっぼうふさがり」

九星は人間の運勢や吉凶の判断に用いる九つの星のことで、九星年盤の中央に入る星を本命星といいます。

本命星にあたる方が八方塞がりの年で、周囲八方がふさがれ、避ける方位は八方どの方位方面にもなく、手の打ちようのない不安定な年廻りとなっています。

九星年盤 令和五年 八方ふさがりの方 (四緑木星・男女)



■男・女八方塞りの年まわり表 数え年

四緑木星	生まれ年	年齢
昭和17年	82歳	昭和35年
昭和26年	73歳	昭和44年
昭和35年	64歳	昭和53年
昭和44年	55歳	昭和62年
昭和53年	46歳	昭和71年
昭和62年	37歳	昭和80年
平成8年	28歳	平成8年
平成17年	19歳	平成17年
平成26年	10歳	平成26年
生まれ年		生まれ年

【高齢の厄年】

生まれた年の干支がもとの干支に戻ることを長寿の祝とした60歳の翌年が通常の厄年の最後であることから、現在では長寿祝を迎えた年(古希70歳、喜寿77歳、傘寿80歳、米寿88歳、卒寿90歳)の翌年が高齢の厄年です。

男女とも	年齢(祝歳の翌年)	生まれ年
91歳	昭和28年生	昭和8年生
89歳	昭和21年生	昭和10年生
81歳	昭和18年生	昭和18年生
78歳	昭和21年生	昭和21年生
71歳	昭和28年生	昭和28年生

霊験あらたか金幣祓い 厄除・八方除の特別祈禱祭は 1月7、8、9、14、15日に斎行致します。

一番祈禱のご案内

「ひとりひとりが受けられる成就の金幣祓い」年明け午前0時の時報とともに、初春のよろこびを神様にお告げし、天下泰平をお祈りする元旦祭に引き続いて、新年の一番祈禱を斎行致します。二年参り・初詣には様々な願いを胸に祈られる事と存じます。

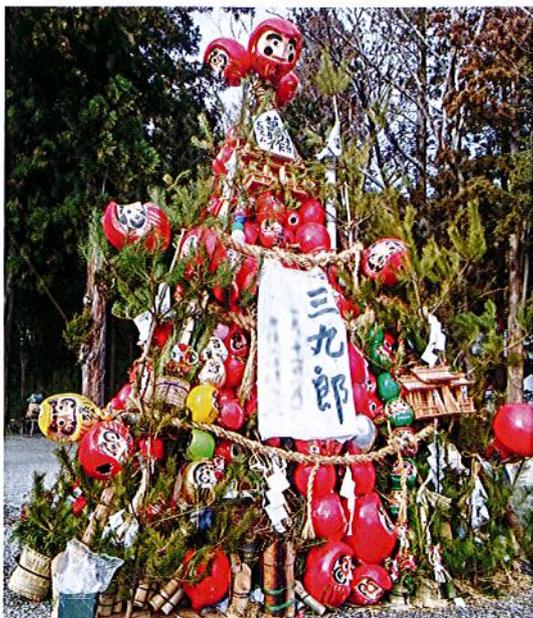
そんな多くの願いを必ず叶えていただければ、新年の巫女舞を奉納する一番初めに一度しか行われない大変貴重なご祈禱です。

一、祈禱料 一〇、〇〇〇円

お申し込みは、電話・ファックス・メール・インターネットにてご予約下さい。

当日申込みの方は、三十一日午後十一時より受付致します。ご予約済みの方は午後十一時四十五分までに拝殿授与所までお越しください。

尚、ご参列不可能な場合は祈禱後、御神札等郵送致します。



第35回 「秘めたる穂高の工芸作家20人展」

安曇野穂高が世界に誇る漆芸家、故高橋節郎先生をはじめ、各分野で活躍する先生方より作品を出展いただきます。

3年ぶりの開催となりますのでご観覧下さい。

日程 1月1日～3日
午前9時～午後4時30分
場所 穂高神社 参集殿

入場無料

三九郎 一月九日

歳神様を送る行事で、火で焼いた餅や団子を食べると1年を健康に過ごせ、書初めを火にくべた時に高く上がると「字が上手くなる」と言われています。

日程 1月9日(月) 正午頃点火
場所 穂高神社南神苑
※お雑煮・お汁粉の振舞いはありません。

初詣特別御朱印

安曇之祖神

穂高神社

令和五年一月 日参拜

頒布日 1月1日～1月31日
初穂料 500円

高校・大学受験、資格、就職
特別合格祈願祭

期日 1月21日(土)・22日(日)

午前9時～午後5時

祈穂料 5000円・7000円・10000円
※10000円のご祈穂には、合格のほりを天神様に奉納致します。

特別合格祈願祭は、拜殿にてご祈穂をし、合格守・絵馬・記念品をお授けします。特別に試験日の当日早朝に再度御祈願いたします。



崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする式年遷宮祭や心と技を捧げる御船祭は、長い歴史の中で培われた安曇野の文化と信仰を象徴しています。
穂高の大神様は、海の恵みと山(陸)の幸を併せ持つた御神徳は広大無辺であります。
皆様方には穂高の大神様とより一層深い御神縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り頂きますよう「穂高神社崇敬会」へ一人でも多くの方にご入会頂きたくお勧め申し上げます。

会員種別入会金(年会費)

- 一、個人会員 3,000円
- 一、法人会員 5,000円
- 一、名誉会員 10,000円

◎特別会員

穂高神社氏子(安曇野市穂高等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区在住)に限る 2,000円

ご参拝おみやげ



あんころもち 880円



御神米 600円

穂高神社参集殿にて販売しております
平日は販売していない日がありますのでお問合せください

神々の縁に抱かれて
穂高神社本宮 上高地 奥宮 結婚式承ります

年祭・直会(ご会食)承ります

お持ちいたたくのは御霊代と御遺影のみです
◆直会のみ、お料理をご自宅へ配達、お持ち帰り用の「折弁当」もご用意できます
◇神葬祭も行えます。

お料理の予算等お気軽にご相談ください
イベントなどの会場使用もできます

【ご予約・お問合せ】
0263-82-0118

穂高神社参集殿
なごみてい
和美庭